

「JENESYS2.0」

2016年度中国高校生訪日団第4陣Bコース

訪問日程 平成28年12月6日（火）～12月14日（水）

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した2016年度中国高校生訪日団第4陣Bコース（副団長＝張 捷（ジャン・ジエ） 甘肅省教育庁 副所長）計124名が、12月6日から12月14日までの8泊9日の日程で来日しました。

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は4分団に分かれ、東京をはじめ、北海道、滋賀県、愛知県、三重県、愛媛県、及び香川県を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、学校訪問・交流やホームビジット・ホームステイ等を通じて、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

12月6日（火）

第1・2・3分団：羽田空港より入国，浅草・上野見学

第4分団：成田空港より入国

オリエンテーション

12月7日（水）

セミナー「グローバル化下の社会貢献とボランティア」

第1・2分団：東京都外国人おもてなし語学ボランティア育成講座視察

第3・4分団：東京ボランティア市民活動センター視察

歓迎会

12月8日（木）

第1分団：北海道へ移動，北海道大学訪問

第2分団：東洋大学訪問，滋賀県へ移動

第3分団：東洋大学訪問，三重県へ移動

第4分団：愛媛県へ移動，愛媛大学訪問

12月9日（金）

第1分団：学校交流（北海道札幌丘珠高等学校），

札幌市時計台・道立自然公園野幌森林公園見学

第2分団：学校交流（滋賀県立高島高等学校）

第3分団：学校交流（学校法人梅村学園三重高等学校）

第4分団：学校交流（愛媛県立伊予高等学校）

12月10日（土）

- 第1分団：大倉山ジャンプ競技場（国際貢献とボランティアに関するセミナー）視察，
体験プログラム（ホームステイ・北海道札幌市）
- 第2分団：体験プログラム（民泊、農業体験・滋賀県蒲生郡）
- 第3分団：伊勢神宮内宮見学，体験プログラム（民泊、農業体験・三重県大紀町）
- 第4分団：体験プログラム（藍染体験），香川県へ移動

12月11日（日）

- 第1分団：体験プログラム（ホームステイ・北海道札幌市），
フライト欠航確定まで新千歳空港内待機
- 第2分団：体験プログラム（民泊、農業体験・滋賀県蒲生郡），
愛知県へ移動，トヨタ産業技術記念館視察
- 第3分団：体験プログラム（民泊、農業体験・三重県大紀町），愛知県へ移動
- 第4分団：体験プログラム（民泊、農業体験・香川県豊島）

12月12日（月）

- 第1分団：小樽市街見学，体験プログラム（トンボ玉製作体験・大正硝子館），
東京へ移動
- 第2分団：学校交流（愛知県立木曾川高等学校）
- 第3分団：学校交流（名古屋市立北高等学校）
- 第4分団：四国村見学，学校交流（学校法人高松中央高等学校）

12月13日（火）

- 第1分団：明治神宮見学，商業施設視察，歓送報告会
- 第2・3分団：東京へ移動，商業施設視察，歓送報告会
- 第4分団：特別名勝栗林公園見学，
高松発フライト欠航のため伊丹空港へ移動，伊丹発の振替便で東京へ移動

12月14日（水）

- 第1・2・3分団：羽田空港より出国
- 第4分団：商業施設視察，羽田空港より出国

3 写真



12月6日 浅草・上野見学（東京都）



12月7日 「グローバル化下の社会
貢献とボランティア」 関本克良天理大学総合
教育研究センター准教授によるセミナー
（東京都）



12月7日 東京都外国人おもてなし語学ボラ
ンティア育成講座視察（東京都）



12月7日 東京ボランティア市民活動センター
視察（東京都）



12月7日 歓迎会 中国の高校生（東京都）



12月7日 歓迎会 中国高校生のパフォー
マンス（東京都）



12月8日 北海道大学訪問（北海道）



12月8日 東洋大学訪問（東京都）



12月8日 愛媛大学訪問（愛媛県）



12月9日 北海道札幌丘珠高校訪問・交流（北海道）



12月9日 滋賀県立高島高校訪問・交流（滋賀県）



12月9日 学校法人梅村学園三重高校訪問・交流（三重県）



12月9日 愛媛県立伊予高校訪問・交流
(愛媛県)



12月9日 札幌市時計台見学 (北海道)



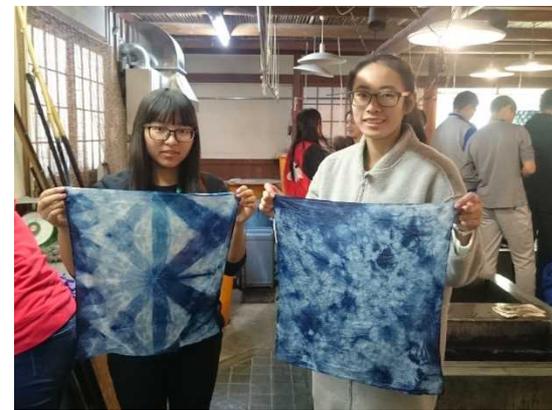
12月10日 大倉山ジャンプ競技場視察
(北海道)



12月10日 民泊、農業体験 (滋賀県)



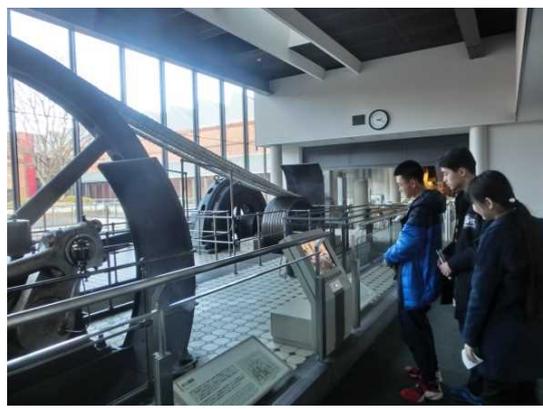
12月10日 伊勢神宮内宮見学 (三重県)



12月10日 藍染体験 (愛媛県)



12月11日 ホームステイ体験 送別会
(北海道)



12月11日 トヨタ産業技術記念館視察
(愛知県)



12月11日 民泊、農業体験 (三重県)



12月11日 民泊、農業体験 (香川県)



12月12日 トンボ玉製作体験 (北海道)



12月12日 愛知県立木曾川高校訪問・交流
(愛知県)



12月12日 名古屋市立北高校訪問・交流
(愛知県)



12月12日 学校法人高松中央高校訪問
(香川県)



12月13日 明治神宮見学 (東京都)



12月13日 特別名勝栗林公園見学 (香川県)



12月13日 歓送報告会 中国高校生のパフォーマンス (東京都)



12月13日 歓送報告会 (東京都)

4 参加者の感想（抜粋）

- 今回の訪問で最も印象深かったのは北海道の雪です。私の故郷で雪が降ることはとても少ないですから。帰国後、日本はとても美しく清潔な国であること、日本人は全力を尽くして国としておもてなしをしてくれたこと、友好的だったことを周りの人たちに伝えたいです。
- 今回の訪問では、日本の環境はきれいで美しく、北海道の雪景色は澄み切っていて透明で、先進国として発展している様子が最も印象に残りました。帰国後、周りの人に日本のきれいな様子を伝えたいです。日本の空は青く、水も空気も澄んでいました。日本の賑やかさもみんなに伝えたいです。日本のビルは高層で、虹がキラキラと輝いていました。日本は経済大国であり、秋葉原の賑やかさは世界で有名です。秋葉原についても具体的に紹介したいと思います。
- 日本人は物事に対して広い視野で考え、他人のことを思いやっています。日本では大量の割り箸が使われていて、それらは麺類を食べるのに適しています。しかし、割り箸は木の端材から作られていて環境破壊の象徴ではありません。むしろ十分に資源を活用しているといえます。日本のホームステイ先では、家の人は私たちの滞在スケジュールを気にしながら話を聞いてくれ、手間を厭わずにお付き合いしてくれました。みんな穏やかで友好的でした。帰国後、日本の整ったインフラ、排水設備や自動化された多くの設備について話したいとおもいます。日本人は温かく、理性的で、誠意を持って他者に接することも伝えたいと思います。
- 今回の訪問で最も印象深かったのは日本人々です。日本では、見知らぬ人であってもみな微笑を絶やさず、店員は丁寧でとても親切です。日本の高校生たちも温かかったです。日本に来る前、日本人は無愛想で冷たいという印象を持っていました。しかし、交流を終えてみると、とても友好的で温厚な人たちであると気がつきました。
- 北海道大学を訪れた時、留学生向けのカリキュラムがあり、中国からの留学生を歓迎していることを知りました。北海道大学の教育資源は豊富で、費用も欧米への留学と比べて高くなく、興味を持ちました。残念ながら私は高校一年生で、海外留学するには道のりは険しいです。TOEFL の成績はまだ A 段階であり、受験する資格に足りていません。けれども、この情報を私より年下で TOEFL の受験資格を満たしている弟や妹たちの世代に伝えたいです。
- 今回の訪問を通じて、私は日本に対する認識を一新しました。かつて日中両国は戦争をしました。いま、平和の白い鳩は互いに翼を広げ、日中両国の関係はさらに一歩深化しています。帰国後に伝えたいことは、日本の新しい技術・文化・日本人の意欲には学ぶべきものがあり、日本人の品性は私たちにとって尊敬に値するものであるということです。
- 今回のプログラムで最も印象深かったのはホームステイでした。ホストファミリーがとても温かく迎えてくれました。私たちは野菜の摘み取りを楽しんだり、一緒にケ

一キを作ったりしました。帰国したら、家族や友達にどうしても伝えたいことがあります。それは、日本の人は温かく、おもてなし上手で、とても礼儀正しいということ。そして、どこにいても、見知らぬ人とすれ違っても、みんな会釈をして挨拶を交わし、「ありがとう」と言うことです。

- 最も印象深かったのは、同行してくださった運転手・通訳・道行く人・店員など、日本人たちの友好の気持ちと礼儀正しさです。日本の学校が様々なプログラムを周到に準備してくださったことや温かく歓迎してくださったことに本当に感謝しています。さらに、ホームステイ先での真心のこもったおもてなしと思いやりに感謝しています。私はこのような親切な行動を周りの人たちに対してもできるように努力します。また、両国の関係改善のために微力ながら貢献できるよう努力します。
- 今回の訪問で最も印象深かったことは、日本の高校生と一緒に授業を受けたことです。日本の教育が理系科目を重視し、個人の得意分野をさらに伸ばし、ビジネスや社会で実践できる力を重視していることがわかりました。日本人の温かさや国民全体の教養の高さ、時間を遵守して効率的な生活をしていることについて、家族や友人に伝えたいと思います。日本の街がきれいで美しいこと・日本の友人が礼儀正しくて気配りができること・日本の社会的発展を私は一生忘れません。
- 学校交流では、日本の教室の様子と数学の授業を体験しました。また、日本の高校生と親密な交流を図ったり、友好を深めたりしました。学校を出発する前に各高校の吹奏楽部の演奏を聴いた時、日本の教育の多様性を強く実感しました。帰国後、同級生と家族に私が経験した日本の高校のこと、交流した日本の友人について話したいです。それから日本と中国の数学の授業を比べると少し中国の方が上だと感じたことも伝えたいと思います。
- 21世紀の新世代の中国高校生の代表として日本を訪問することができたことを大変光栄に感じています。日本は盛大に私たちをもてなしてくれました。心から感謝申し上げます。今回の訪問プログラムでは、日本の皆さんが行き届いた手配をしてくださったおかげで、まるで家に帰って来たような気持ちで滞在することができました。最も印象深かったことは日本の高校を訪問したことです。私たちは日本の高校生と一緒に授業を受け、感動したり興奮したりしました。日本の先生と生徒はとても温かく、外から来た人だからと言ってのけ者にするということもありませんでした。日本の高校生たちと深い友情の絆を結ぶことができました。
- 8日間という短い間に、私たちは温かいおもてなしと美しく小さくまとまった国を存分に体験することができました。整った町、きれいな青空、上品で礼儀正しい人々。私は日本をますます好きになりました。ホームステイ体験を通じて、日本の生活を肌で感じるすることができました。日本のおばあさん・おじさんが私たちのためにご馳走を用意してくれました。長い間、話をしました。日本の高校生も私たちをととても歓迎してくれました。一緒にゲームをやり、交流し、日本の友達ことができました。長く友達でいたいと思います。皆さんが私の国にも来てくれたら嬉しいです！ 帰国後、一生懸命、できる限り、日本での美しい出来事を伝えます。そして、日中間の民間使者になります。

す！

- 今回の交流学习で最も印象深かったことは12月12日に名古屋市立北高校を訪問した時のことです。日本の生徒が温かくもてなしてくれたり、細かいところまで世話をしてくれたりしました。まるで家に帰って来たような気持ちでした。パートナーになってくれた日本の高校生は全行程を通じて私の傍にいてくれました。まじめで、穏やかで、ユーモアがありました。私という「異郷の客」をリラックスさせてくれました。交流学习終了後、一緒に記念写真を撮り、プレゼントを交換しました。このようにして結んだ友情は、国や言葉の違いを乗り越え、日中両国の美しい未来をもたらすのだと思いました。帰国後、日本で経験したことを周りの人に話したいです。一部の偏見を持った人たちの日本に対するよくない見方を改めてもらいたいです。日本の人たちの温かいおもてなしを、自分の話を通じて中国の人に伝えられると私は信じています。日中両国民の友好関係をさらに深めるのが私の役割だと思います。
- 今回の交流で最も印象深かったことは、12月12日に名古屋市立北高校を訪問した時のことです。日本の生徒が温かくもてなしてくれたり、細かいところまで世話をしてくれたりしました。まるで自分の学校にいるようで、とてもリラックスできました。必要なことはすぐ対応してくれ、日本の生徒が私たちに同行してくれました。休み時間の教室では、日本と中国のグルメや趣味などをたくさん語り合いました。私たちは異なる歴史文化の下で生まれ育ち、言葉は違いますが、一緒にいる時は本当の自分を見せることができました。私たちの友情が常緑樹のように枯れないことを信じています。
- 今回の訪問で最も印象深かったことは二回の高校訪問です。日本の生徒の温かさと友好の気持ちには本当に感動しました。日本の文化を私たちに教えてくれたことで、私たちは真の日本を知り、日本人の本当の考え方を理解できました。さらに、日本に対する見方を変えてくれました。帰国したら、日本の環境・文化・教育などの知識を周りの人に伝えます。そして、中国人も日本に学べたらよいと思います。
- 今回の訪問で最も印象深かったことは日本人の私たちに対する態度です。私たちが近づくと日本人は微笑みを返してくれます。私は帰国したらこのことを同級生に話し、同じようにできるようになりたいです。ほんの小さな動作ですが、相手が気持ちよく感じたら、それはずっと残ると思います。日本人の礼儀も強く印象に残りました。「おはよう。こんにちは。どうぞ……」という言葉がいつも飛び交っていました。私たちは日本から学ぶべきだと思います。
- 最も印象深かったのは、もちろん日本のホームステイ体験です。家の中はとっても綺麗で、ホストファミリーはとってもよくしてくれました。言葉の壁はありましたが、とても親切にしてくれました。たくさんの料理まで用意してくれました。二日目も多くのプログラムがありました。その環境もよく、天国を思わせました。帰国後、友人たちに日本の全てを伝えます。日本の空・日本の街・日本人。友人たちも私と同じように、小さいながらもこの上なく美しい日本という国をきっと好きになってくれると信じています。

- プログラムの中で、ホームステイ体験がとても印象に残りました。今回のプログラムはとても貴重な機会でした。日本の農村のとても愛すべき暮らしに触れ、この上なく素朴な農村文化を体験しました。そこに住む人たちの優しさと温かさを感じました。10日間ほどの訪問を経て、日本文化の根底には「礼」があると感じました。日本人の他者に対する礼儀正しさには感服し、それは心地よくて自然な振る舞いでもありませんでした。以上のことが帰国後に周りの人に伝えたいことです。
- 今回の訪日で最も印象に残ったのはホームステイです。K家のおじいさんとおばあさんは、私たちのことを本当の孫のように思ってくれました。おじいさんは私たちと一緒に豊島を散歩したり、畑に連れて行ってってくれたりしました。生きた蛸も捕まえてくれました。おばあさんは家でたくさんの料理を準備してくれていました。蛸の刺身がとてもおいしかったです。日本の素晴らしい公共マナーや清潔な街を皆に紹介したいと思います。それから、日本人は真面目で、時間を守り、人に迷惑を掛けないということも紹介したいと思います。
- 今回の訪問で最も印象深かったのはホームステイです。とても得難い機会でした。日本の農村に入り、現地の人たちと交流し、日常生活を体験しました。村の人達の温かさと友好の気持ちに触れました。帰国後、私はこの経験を友達と分かち合いたいと思います。また、日本で知り合った友人と連絡を取り続けたいと思います。
- 日本人は中国人に対して大変友好的です。日本を旅行してみることをお勧めします。ホームステイ先では、おばあさんがとても温かかったです。私たちが硬いベッドで寝られないのではと心配し、特別にとっても柔らかいベッドを用意してくれました。二日目は、おばあさんのために高枝の剪定をしました。食後、英語が堪能な方が私たちを豊島の三大スポットへ車で連れて行ってくれました。最後に、その運転手さんが私たちにクレープをご馳走してくれました。別れの時には、私たちの姿が見えなくなるまで、ホストファミリーがずっと岸辺に立って見送ってくれました・・・